



平成30年 3月15日
 下越美術教育研究会
 事務局
 女池小学校
<http://business3.plala.or.jp/kabiken/>
 印刷 文久堂



下越美術教育研究会会長 永井高志
 (新潟市立越前小学校長)

本年度の下越美術教育研究会の活動

本年度の下越美術教育研究会の事業も、第14回新潟教育アート展の終了をもちまして、ほぼ無事に終えることができそうです。これも一重に、役員・幹事の皆様の献身的なご尽力はもろんのこと、陰で支えていただいた関係諸機関や代議員、さらには顧問、参与の皆様のご理解とご協力によるもの、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございます。

8月には、恒例の夏季実技研修会を開催いたしました。講師として、東京学芸大学准教授の西村徳行様、並びに新潟市こども創造センター館長の浅井俊一様をお迎えし、実りある研修を行うことができました。県内各地から多くの先生方にご参加いただき、盛況のうちには終えることができました。

「第14回新潟教育アート展」は、1月4日(木)～13日(土)、新潟市新津美術館との共催で開催いたしました。本展覧会は、図工・美術教育の振興と、それに携わる教師の指導力の向上を目

指しています。今回も新潟市や下越を中心に全県より約2万点を超える出品がありました。会期中の入場者は4千人を超えました。1月6日(土)には、各部門のグランプリ受賞者を新潟市新津美術館にお招きして、表彰式を挙行いたしました。受賞された幼児児童生徒、並びにその保護者の皆様の嬉しそうな表情に、主催者としての様々な苦労が報われた思いがいたしました。

県美術教育連盟との連携や全国教育美術展の地区審査、県ジュニア展への協力等、本年度も様々な事業を行ってまいりました。年を重ねる毎に、内容が充実してきているように感じています。平成31年度には、第32回新潟県美術教育研究大会・下越大会が予定されています。その成功に向けて、なお一層組織及び会員相互の結束を強めていきたいと考えています。今後ともご理解ご協力のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。



下越美術教育研究会事業部長 吉田直彦
 (聖籠町立蓮野小学校)

第14回新潟教育アート展 ご協力ありがとうございました

平成30年1月4日から13日まで、新潟市新津美術館を会場に第14回新潟教育アート展を開催いたしました。会期中は、約4千500人が来場し、盛況のうちには終えることができました。

今回は、およそ270の園・校より、2万1千点を超える作品の応募をいただきました。皆様の御陰で、アート展も地域の展覧会として定着してきたことに感謝いたします。

審査会にいらした他県の大学の先生方に話を聞くと、これほど大規模な美術展は他県には少ないそうで、新潟の美術教育に対する意識の高さを感じるとおっしゃっていました。うれしいこ

とです。今年度も会員の先生方の積極的な取組に加え、アルバイトの学生・シルバ一人材センター等の皆様方のお力をいただきました。この場を借りて感謝申し上げます。

今回は、第15回を迎えます。来年度も地域の造形教育に貢献できますよう、事業の企画・運営をして参りたいと存じます。今年度同様、より多くの皆様からお力添えいただき、さらによりよい展覧会にできればと考えております。皆様のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。



グランプリ表彰式 1月6日(土)

～新潟市新津美術館アトリウム～



審査員一覧

◆平面作品部門

【幼・保育園・特別支援】
上越教育大学

松本 健義

【小学1年生】

鳴門教育大学

山田 芳明

【小学2年生】

北海道教育大学

阿部 宏行

【小学3年生】

東京学芸大学

相田 隆司

【小学4年生】

福井大学

濱口 由美

【小学5年生】

新潟大学

橋本 学

【小学6年生】

岡山大学

大橋 功

【中・高等学校】

◆写真・CG・活動部門

新潟大学

丹治 嘉彦

第14回 新潟教育アート展

○会期 平成30年 1月4日～1月13日

○会場 新潟市新津美術館 2階展示室



新潟教育アート展は、14回を重ね、応募総数21、261点の出品数となりました。審査員は、県内外から全国的にも著名な大学の先生方をお招きすることができ、高い専門性と子どものよさを見出し出して審査いただきました。補助員となった新潟教育アート展実行委員の先生方も子どもの作品の見方・考え方について大変勉強になっていることと思います。審査員の方からは、「子どもの絵は、自分の思いを絵にして、大人のように見えるものを見るように描きません。絵の中に入り込んでお話しするように描きます。鑑賞した子どもの絵からお話や子どもの声が聞こえてきますか。」というような審査評をいただきました。まさに、子どもの願いや思いが表出され、先生や友達との対話から創り出し、その声が聞こえてくるような作品ということが大切なんだなあと感じます。対話的で深い学びを求め、思考力、判断力、表現力の伸長を図りたい時に、図工美術教育は、その特質である造形的な見方・考え方で、表現方法の創意工夫や豊かに発想し構想を練ったり、美術文化に見方や感じ方を深めたりできることに、この教科の素晴らしい意義を感じます。

今年度の準備、展示作業は、お手伝いの大学生の皆さんを含めて大変たくさん的人数で円滑に進めることができました。そして、それぞれの交流もあり、楽しく充実できました。これから、皆さんの繋がりを大切に、展覧会、図工・美術教育を通してみんなが子どもの心を育みたいと願っています。



盛大・充実の新潟教育アート展

下越美術教育研究会副会長 長谷川 恵
(新発田市立二葉小学校長)



★ ★ ★ ★ ★
アート展の舞台裏
 <展示・撤去・搬出>



先生方の存在に支えられ



新潟教育アート展実行委員
 会員 湯田 京生
 (敬和学園高等学校)

新潟教育アート展の審査・展示作業に学生アルバイトとして参加し続けて数年が経ち、今年度からは会員としてこのアート展に関わらせていただきました。

「審査等では是非先生方の『つぶやき』を聞き、研修の場としてください。」という会長の言葉のとおり、審査員の先生方や作業に関わる先生方の「つぶやき」から、多くのことを学ばせていただきました。

特に、子どもたちの作品を見る過程で、審査チームの先生方とともに、「作品から子どもたちの声を聴く」という感覚を体験できたことは大きな学びになったと感じています。

学生アルバイト時代の私は、いかに速く正確に与えられた仕事をこなせるかに情熱を注いでいたように思いますが、今年度の参加では、子どもたちの作品や先生方のつぶやきから何か指導のヒントを見付けたという必死な思いもあり、貴重な研修の場として活用させていただくことができました。

今の私の前には、様々な事情を抱え、それぞれに違った願いや思いをもつ子どもたちがいます。そんな子どもたちの作品作りを自分

が指導するのは畏れ多いことのように思います。

また一生懸命に作った子どもたちの表現を評価することも、責任を感じる場面です。良い指導・授業作りができているのかと不安になり悩む時もあります。しかし、作品から子どもたちの声を聴こうとする先生方、子どもとの対話を大切にして指導をする先生方の姿に勇気付けられ、支えられていると感じます。

目標にすべき多くの下越美術教育研究会会員の先生方の存在に感謝し、責任感と向上心を持ち、地域の美術教育に貢献できる教員を目指したいと思います。



会員の声

中越美術教育研究会に参加して



小出 美慧
(新潟市立大野小学校)

昨年夏に開催された中越美術教育研究会の「造形五・十の市」に参加させていただいて、得られたことが二つあります。

一つ目は、自分の実践について振り返り、課題を考えるきっかけをいただいたことです。今まで研究授業を行った後、振り返り、まとめることをきちんとしていなかった私自身が大会テーマであった「かかわり つながり みつめる」という観点でパネルでの発表に向け、授業について振り返り、出てきた課題について、どうすればよかったのかを考えることができました。そして、「かかわる」「つながる」「みつめる」が連動することです。子どもの学びが深いものになることを感じました。

二つ目は、研究会当日、多くの先生方の発表を聞かせていただき、今後の授業へのヒントをいただけたことです。パネルを拝見し、魅力的な題材や授業展開、ICTの有効活用により子どもが学びを自覚できることが分かっていました。また、図工・美術の研究をされている先生方とお知り合いになることができました。今回のつながりを大切に今後の研究ができればと思います。

最後にありますが、発表者という貴重な機会をいただきありがとうございます。

アートを身近に引き寄せる力



白倉 篤志
(新潟市立亀田西小学校)

図工がとても好きで、数年前から市小研でも図工部に参加させてもらっています。それが縁で、今年度から下越美術教育研究会に寄せていただくことになりました。年末年始には、新潟教育アート展の準備に初めて参加して、華やかな展覧会の裏には、下越美術教育研究会の先生方やアルバイトの学生の皆さんの献身的な仕事の数々があつたことが実感できました。ちょうど、実り多い畑を作り上げるためには、耕作する人の不断の努力が欠かせないのに似て、新潟の図工・美術教育を支える力的一端を垣間見た気がしました。

これからの時代、人のもつ創造力・想像力が、図工や美術の枠をも超えてより重要視されてくるはずだと思います。アートが、人の思惑や生き様の限界を打ち破る働きを存分に発揮するはずだと。皆がアートをより身近に感じ、自分の生活に取り込むようになれば、社会はより芳醇なものに変わると確信しています。

下越美研は、新潟の地において、教育の世界からそうした取組を広げている素晴らしい会だと思っています。夏の研修も本当に面白くて、たくさん刺激を受けました。今後も、少しでも企画運営のお手伝いができれば、と思います。よろしくお願ひします。

平成29年度 下越美術事業報告

- 5月30日(火) 下越美術教育研究会 理事会・代議員会 (新潟・新津美術館)
- 6月26日(月) 県美術教育連盟理事会 (長岡アトリウム)
- 8月4日(金) 第58回夏季実技研修会 第1回新潟教育アート展 実行委員会 (新潟・天寿園)
- 8月25日(金) 下越美術教育研究会会報 「夏季号」発行
- 9月5日(火) 第48回県ジュニア美術展 運営委員会 (新潟・新潟日報メディアシップ)
- 10月下旬 第14回新潟教育アート展 募集要項発送
- 11月9日(木) 第77回全国教育美術展 新潟地区審査会協力 (新潟・天寿園)
- 11月17日(金) 第70回全国造形教育研究大会 18日(土) 第57回関東甲信越静地区造形教育研究大会長野大会 参加呼びかけ (長野・佐久市、軽井沢町等)
- 11月18日(土) 第14回新潟教育アート展 (22日(水) 搬入期間) (新潟・新津美術館)
- 11月27日(月) 第14回新潟教育アート展 審査 (新潟・新津美術館)
- 11月28日(火) 第48回県ジュニア美術展 審査協力 (新潟・県民会館ギャラリー)
- 12月1日(金) 第14回新潟教育アート展 審査結果発送作業 (新潟・女池小学校)
- 12月28日(木) 第14回新潟教育アート展 展示作業 (新潟・新津美術館)

- 1月4日(木) 第14回新潟教育アート展 (13日(土) 新潟・新津美術館)
- 1月6日(土) 第14回新潟教育アート展 表彰式 (新潟・新津美術館)
- 1月14日(日) 第14回新潟教育アート展 搬出作業 (新潟・新津美術館)

- 2月3日(土) 第32回新潟県美術教育研究大会 下越大会 第1回下越美術教育研究会実行委員会 第2回下越美術教育研究会理事会 第2回新潟教育アート展 実行委員会
- 2月27日(火) 下越美術教育研究会 会計監査 新潟教育アート展 会計監査 (新潟・上所小学校)

- 3月15日(木) 下越美術教育研究会会報 「春季号」発行

編集後記

新潟教育アート展は、来年度で15回目を迎えます。やがて、会員の中に、幼き頃に出品した人も出てくることでしょうか。いまだ応募点数が増加し続けていることは、アート展独自の価値が、学校教育現場で支持・評価されていることの確固たる証です。

過日、「第32回下越美術教育研究会を語る会」に出席し、当会発起人のお一人である岡村文彦様から貴重なお話を伺い、改めて多くの偉大な先輩方への畏敬の念を抱きました。

ホームページも随時更新しております。ご覧ください。